

へんしも情報

組合等活性化情報誌

11
2023 vol.271

Contents

- 1 おらんくの組合(企業組合宇佐もん工房)
- 3 中小企業団体全国大会(宮城県)開催報告
- 4 ものづくり担い手育成研修ご案内(溶接PT・マシニングセンタ)
- 5 台湾視察報告
- 7 特集 中小企業にデジタル化は必要か?
NTTアドバンステクノロジー(株)河端亮一氏
- 10 青年部情報“雄飛” 親睦ゴルフコンペ・とさとーく開催
- 11 組合いんふおめーしょん
- 12 地域おこし協力隊レポート《大豊町》
- 13 県内各業界動向(2023年9月)

人を継ぎ、組織を育む 高知県中小企業団体中央会
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

ウェブでも
へんしも!

これまでの記事は
こちらから ...➡



企業組合
宇佐もん工房

企業組合宇佐もん工房

今月の組合



企業組合宇佐もん工房
理事長 所 紀光 氏

<組合プロフィール>
所在地:高知県土佐市宇佐町宇佐3161-29
TEL:088-856-1146
組合員数:23名
設立:平成22年10月
主な事業:宇佐一本釣りうるめいわし並びに
地域の特産品の商品開発及び
製造並びに販売、飲食店の経営

地域活性化を目指して “うるめいわし”の ブランド化に取り組む

当組合は、土佐市商工会青年部の宇佐地区メンバーでの「宇佐にお金落ちる取り組みをしたいね」という話をきっかけに、宇佐を“うるめいわしの町”としてブランド化し、『宇佐を元気にしよう』と地域の有志が集まってできた団体です。

宇佐で水揚げされる“うるめいわし”は、年中漁獲できるのにもかかわらず、干物に適した時期しか漁が行われていませんでした。それは、特産品の「丸干しの“うるめいわし”」のように、“うるめいわし”に干物としての需要しかなかったため、私たちはそこに可能性を感じ、“うるめいわし”の干物以外での需要を喚起するため、商品化に取り組みました。



▲宇佐の“うるめいわし”

鰯は漢字で表されているように弱りやすい魚で、その中でも“うるめいわし”は繊細で

傷みやすく鮮度の維持が難しい魚なのですが、宇佐では一本釣りの伝統漁法があり、鮮度の良い“うるめいわし”が水揚げされます。

そこで、まずは、この鮮度の良さが伝わるような商品展開をしていこうと考え、鮮魚の配達やフィレ、姿開き、すり身などの業務向け商品の製造販売に取り組みました。

自営の飲食店「宇佐もんや」や土佐市内の飲食店から徐々に取引先を増やしていき、高知市内を中心に約40店舗の飲食店で、刺身や握り寿司などで“うるめいわし”を食べてもらえるようになりました。

また、スタート時から商談会や展示会には積極的に参加していて、“うるめいわし”は、地域に根付く伝統漁法などの地域性・ストーリー性もあり、鮮度も高く味も美味しいと高い評価をいただけて県外からの引き合いも増えていきました。

“うるめいわし”の新たな需要を生み出す取り組みが実を結び、県内だけでなく全国に広がり、“うるめいわし”の新たな食べ方を広めることができました。



▲展示会の様子



地域の誇り・発信拠点としての 『宇佐もん工房』へ

加工場の増設後に、 うるめいわしが不漁に…

“うるめいわし”が全国的に広がりつつある中で、事業拡大を図るため、平成28年に補助金を活用して加工場の増設を行いました。冷蔵庫や急速冷凍機などの設備を増やし、生産能力を高めて、更なる拡販に注力していこうと考えていました。

しかし、そんな中で“うるめいわし”が獲れない時期が少しずつ増えていきました。1ヶ月程度であればあまり影響はないのですが、年々、獲れない時期が増えていき、有名なチェーン店からのサイドメニューへの掲載案件などの大きな引き合いも、安定しない漁獲量により途中で辞退することになりました。

その後も状況は悪化し続けて、得意先への供給すら諦めざるを得ない状況になり、ついには、昨年から現在まで約1年間一切水揚げがなくなりました。

事業の拡大を目指し売上が上がっていくことを見込んでの加工場の増設だったため、想定以上の売上が出せず、赤字が膨らみ、厳しい経営状況に陥ってしまいました。



▲増設した加工場

漬け丼シリーズでV字回復

厳しい状況の中で、大きな転機となったのが新型コロナウイルスによるライフスタイルの変化でした。

巣ごもり需要が拡大し、通販や食材宅配サービス業者の利用が急激に増え、これまで生協などの宅配業者と取引が多かった「漬け丼」が、初めて緊急事態宣言が出された時期には通常の3倍以上の注文があり、注文は次第に増えていきました。

元々、「漬け丼」は“うるめいわし”の加工商品の1つでしたが、『他の魚種でも作って欲しい』との声もあって、“うるめいわし”が安定して獲れなくなった時期から、高知産の天然のサバや養殖のタイ・ブリ・カンパチとバリエーションを増やしていましたので、注文の増加にもしっかりと対応できました。

また、“うるめいわし”の商品は、地域性・ストーリー性などの良さを簡単に説明することが難しく伝わりにくいことから、ギフトではあまり評価が得られていませんでしたが、“うるめいわし”から『高知の魚』に変えたことで、『魚の美味しい高知で作った漬け丼』というわかりやすさから、ギフトでも人気が出てきました。

さらに、これまでの活動を通じて、鮮度の維持が難しい“うるめいわし”を扱う加工場『宇佐もん工房』として高い評価をいただいていたことも、ギフトや宅配、自営のECサイトでの売上増加に繋がりました。

これまでの『鮮度に対するこだわり』が評



▲漬け丼の製造の様子

価され、また商談会や展示会を通じて市場のニーズや価値感を拾い続けてきたことで、このような社会の大きな変化によるチャンスをつかむことができたと思っています。

“うるめいわし”がなくても 『宇佐もん工房』が地域の誇りに

昨年度は、これまでで最大の売上高を記録し、累積赤字もあと少しでなくなる状態まで経営が改善しました。今年度はさらに昨年度の売上を超える勢いがあり、まだまだ漬け丼シリーズの開発と販路の開拓に力をいれていきたいと思っています。

“うるめいわし”のブランド化を通じて『宇佐を元気にしよう』と活動を始め、“うるめいわし”の良さを伝えるために鮮度にこだわって取り組んできたことが、現在の「鮮度にこだわる『宇佐もん工房』」というブランド化に繋がりました。

今は“うるめいわし”がなくても、これまで従業員や組合員、取引先など関係者の方々と積み上げてきた『宇佐もん工房』というブランドがあります。『宇佐もん工房』が、地域の誇りになるように、宇佐の発信拠点として厳しい環境の中でもあり続けていけるように、これからも頑張っていきます。

知これ
っちよいて
HENSHIMO information

漁師のまかない 絶品漬け丼シリーズ

高知県の漁師町で人気の飲食店「宇佐もんや」で提供されている漬け丼シリーズが、ご家庭でも手軽に楽しめます。

弱い魚のイワシを専門に生食加工している『宇佐もん工房』だからこそ、鮮度を活かした加工品が得意です。流水解凍5分で本格的な漬け丼が味わえるので、忙しい時や急いで料理を作らないといけない時にも便利です。タレは割烹料理屋が監修したオリジナルタレで、魚種によっても変えるこだわりがあります。漁師町でないとめったに味わえない、まかない丼シリーズを、ぜひご家庭でお試ください。

まずは、右記のURL又は二次元バーコードからアクセスして商品をご覧ください。



▲漬け丼セット(5種各2セット)

土佐えもん広場
<https://e-monhiroba.com/collections/dukedon>



第75回 中小企業団体全国大会開催 in 宮城

“つながる ひろげる 連携の架け橋”

困難にチャレンジ! 未来の創造・地球との共生 ～仲間と共に希望をつなぐ 成長・躍動 新たな一歩～

去る10月11日(水)、「つながる ひろげる 連携の架け橋」をキャッチフレーズに、「第75回中小企業団体全国大会」が、「仙台国際センター」(宮城県仙台市)において開催されました。

大会には全国から中小企業団体の代表約2,000名が参集。本県からは本会・久松朋水会長を団長に16名が参加しました。

大会では宮崎政久・厚生労働副大臣をはじめ、多数の来賓の臨席のもとに、佐藤勘三郎・宮城県中小企業団体中央会会長が議長に、尾池一仁・北海道中小企業団体中央会会長、稲山幹夫・福井県中小企業団体中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行され、「中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」など13項目を決議しました。

また、組合運営が特に優良と認められ他の模範とするに足る「優良組合」44組合、業界及び組合の発展に寄与した功績が顕著な「組合功労者」74名、中央会指導員として他の模範とするに足る「中央会優秀専従者」26名の表彰が行われ、本県からは下記の方々が受賞されました。

最後に次期開催地として福井県が決定し、大会旗が森全国中央会会長から稲山幹夫・福井県中小企業団体中央会会長へ継承され、閉会となりました。

決議事項

I. 中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服、成長促進支援等の拡充

1. 危機的状況の克服、経済再生に向けた支援の拡充強化
2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた支援強化
3. 中小企業団体中央会の指導体制・支援予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善
4. 強靱かつ活力ある地域経済社会の実現

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 中小企業に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築
2. 中小企業の人材育成・確保・定着対策

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

表彰者のご紹介 栄えある受賞 おめでとうございます

優良組合表彰



高知市中央卸売市場 青果仲卸業協同組合

高知県高知市弘化台12番12号
理事長 宮川 堅一
設立年月日 昭和43年5月4日
組合員数 12名
主な共同事業 共同購買(代払い事業)

共同購買(代払い事業)を中心に事業を展開し、組合員企業の経営基盤の安定と効率化に寄与するとともに、組合の財政基盤の強化にも繋げ長年にわたり健全経営を行っている。

また高知市や関係団体と連携しながら卸売市場のPRや食育の推進に繋がる「中央卸売市場開放デイ」イベントの共催や、高知の食材を使用した料理教室を小学校で開催するなど、青果の消費拡大に大きく貢献している。

組合功労者表彰



武井 勝一 氏

高知県石油業協同組合
理事長

平成26年に理事長に就任して以来、石油製品の共同受注事業を適正に実施し、組合員の受注確保に貢献している。また、災害発生時に地域の燃料供給拠点となる「住民拠点SS」や、緊急車両への優先給油を行う「災害対応型給油所」の整備等を積極的に推進するなど、地域防災力の強化にも尽力している。

平成26年に高知県中小企業団体中央会の理事に就任し、県内中小企業の振興に貢献している。

参加者の皆様
お疲れ様でした!

次期大会は
令和6年10月24日(木)
福井県にて開催されます。
皆様の奮ってのご参加を
お待ちしております!



ものづくりの基盤技術強化を図る研修会の開催案内

－令和5年度ものづくり担い手育成事業－

参加者
募集！
無料

▶浸透探傷試験(PTレベル1)技術研修

●開催日時 令和5年12月6日(水)・7日(木)

両日とも9:00~16:00

●開催場所 高知県立高知高等技術学校(高知市仁井田1188)

【研修概要】 本研修では、浸透探傷検査技術(PTレベル1)の習得及び資格の取得を目指し、その基礎や試験方法に関する知識、試験装置の操作方法などについて、実習を交えて講義します。

【講師】 高知県立高知高等技術学校 溶接科講師 飯田康夫 氏

【募集人員】 5名(※定員を超える場合は、1事業者当たりの参加人数の制限があります)

【申込締切】 令和5年11月15日(水)

【申込方法】 下記のURL又は右のQRコードよりアクセスしてお申し込みください。

【H P】 <https://forms.gle/VuFa69n8ZoiZWY8u6>

申込サイト



▶マシニングセンタプログラム技術研修

●開催日時 令和5年12月18日(月)・19日(火)

両日とも9:30~16:30

●開催場所 高知職業能力開発短期大学校 207室(香南市野市町西野1595-1)

【研修概要】 本研修では、マシニングセンタの基本的な知識習得を目指し、座学だけでなく、実際にプログラム作成に係る基本操作を学び、簡単なプログラミング課題に取り組みます。

【講師】 高知職業能力開発短期大学校 生産技術科 大北健二 氏

【募集人員】 20名(※定員を超える場合は、1事業者当たりの参加人数の制限があります)

【申込締切】 令和5年12月8日(金)

【申込方法】 下記のURL又は右のQRコードよりアクセスしてお申し込みください。

【H P】 <https://forms.gle/zsVCkRJ7T8xq7EtP9>

申込サイト



お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会

連携推進部(担当:高瀬



小澤



久保



TEL:088-845-8870

メリット
1

通常の定期預金より
高めの金利設定
※当金庫内比較

メリット
2

固定金利の半年複利で
効率よく資産運用

メリット
3

ライフスタイルに合わせて
選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの

定期預金

マイハーベスト

※詳しくは、店頭のチラシまたはホームページをご覧ください。

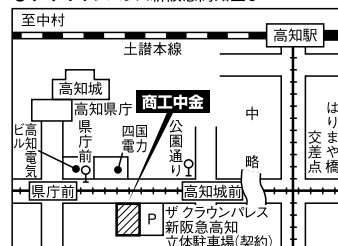


商工中金

高知支店 088(822)4481

〒780-0870 高知市本町4-2-46

●ザ グラウンパレス新阪急高知並び





台湾 視察報告

本会では、県内宿泊業界のマネジメント人材不足の課題解決を目指して台湾人大学生のインターンシップ受入れをサポートするために、高知県旅館ホテル生活衛生同業組合、レストラン事業者、大学・県関係者など総勢16名の視察団にて、9月4日(月)～9月8日(金)の日程で訪台いたしました。

弘光科技大学(台中市)

9月5日午前は、高知県立大学とも交流が深い、台中市の弘光科技大学を訪問してインターンシップについて意見交換をしました。

意見交換後、餐旅管理系(ホテル・レストラン学科)の教育体系が充実していることから、教育現場を見学しました。見学終了後には、実際に餐旅管理系の学生が調理や給仕をしている、大学内にある実習型レストランにて、学長も参加しての試食会が開催され、学生が作った料理をいただきながら、ホテル人材や厨房人材のインターンシップについて意見交換を行いました。



台中市

台湾で2番目の大都市を誇る台中市。台中市の平均気温は約22.4℃、四季を通じて大変温暖な気候です。台湾中部の台中盆地にあり、東西には大坑山、大肚山が連なっています。台中市は商工業によって発展を遂げている都市です。市の面積は約163ヘクタールあり台湾中部では最大の都市となっています。



南投県

南投県は台湾本島の中央に位置し、中央山脈の懷に抱かれた美しい土地です。台湾では唯一、海に面していない県ではありますが、その分、山岳風景の美しさは格別で多くの人々を魅了してやみません。東アジア最高峰の玉山をはじめ、南投県ならではの山岳景観を楽しめます。また台湾最大の淡水湖である日月潭は、レクリエーションとして人気を集めています。県の主産業は農業です。

<台湾交通部観光署HPより抜粋>

東海大学(台中市)

9月5日午後は、高知大学と全学協定を結んでいる台中市の台湾東海大学文学部日本語学科を訪問しました。

初めに、団長である本会・藤本副会長より挨拶を行い、高知県観光政策課より高知県観光の特徴について説明がなされました。その後、高知大学・岡村先生より高知大学のUSR(大学の社会的責任)について説明がなされました。続いて、文学部・周院長(学部長)より歓迎の挨拶の後、大学概要について説明を受けました。

その後、日本語学科の張瑜珊学科主任と陳文瑤先生が参加、インターンシップについて具体的な意見交換を行いました。



国立暨南(チナン)国際大学(南投県)

9月6日には、高知大学と連携している南投県の国立暨南国際大学を訪問しました。

初めに、Hsiu-Hua, Hu副学長を表敬訪問し、訪台の目的等について説明しました。副学長からはインターンシップができる貴重な経験の場を提案してもらっていることについて謝意を受け、協力をして実施していくことを約束していただきました。

続いて、管理学院(マネジメント学部)の学部棟へ移動して、観光・レジャー・ホスピタリティ管理学科の黄裕智学科長より学科の説明を受けた後、具体的にインターンシップについて協議を行いました。

管理学院での意見交換の後、以前に管理学院がキャンパス内で運営していたホテル(現在は外部委託)を視察しました。当該ホテルは、1泊1万5千円程度で外部の人間も宿泊可能で、学部生がインターンシップやアルバイトでホテルマネジメントを学ぶことができる仕組みになっていました。

ホテル視察後には、葉家瑜国際事務長を囲んでのランチミーティングとなり、昼食を食べながら意見交換を行いました。



台湾政府教育部(台中市)

最終日の9月7日午前は、台湾の行政院に属する教育文化政策全般を担当する官庁「教育部」の教育旅行を統括している部署を訪問して、教育旅行のインバウンド誘致について意見交換を行いました。

初めに国際及少数民族教育科の陳碧玉科長より歓迎のあいさつをいただき、本会・藤本副会長より訪問受け入れのお礼と目的の説明を行った後、高知県庁より高知県の観光スポットや高校の国際交流について説明を行いました。

その後、資料に基づいて昨年よりスタートした教育部が管理している、オンライン上で教育旅行マッチングができるプラットフォーム「IEW(International Exchange Window)」について詳細な説明を受け、教育旅行の誘致を行うための具体的な方法や課題等について意見交換を行いました。



高知県台湾オフィス(台北市)



9月7日の午後には台北へ移動、高知県と台湾との経済交流並びに観光交流の促進活動をしている「高知県台湾オフィス」を訪問して、台湾事務所の業務概要や台湾情報について総経理・歐元韻氏より詳細なレクチャーを受けました。

「高知県台湾オフィス」では、輸出促進サポートだけではなく文化・交流支援も行っており、今回の台湾視察では、弘光科技大学との橋渡しや教育部訪問のアレンジをしていただき、充実した視察を行うことができました。

今回の視察調査の結果、訪問した3大学とも来年度以降のインターンシップ送出についてとても前向きな反応をいただき、まずは双方窓口を決めて、年内にマッチングを進める運びとなりました。

今後も高知県中小企業団体中央会では、海外視察などを通じて、優秀な人材の確保や技術交流・海外展開など、皆様のニーズに沿った支援を行ってまいります。



中小企業にデジタル化は必要か？ —必要性と具体的な効果を求めるために—

01▶ デジタル化は中小企業になぜ必要か

高齢化社会を迎え、2025年に高齢者が30%を超える時期を境に、2040年には労働力が著しく不足すると言われています。また2024年から運送業界の時間外上限規制など中小企業にとって労働力不足は企業の存続にも大きく影響する問題であり、労働力不足をどうやって補うかを真剣に考える時期となっています。

労働力不足を補う手段の一つに、次世代を背負う若手の社員を雇用することが重要ですが、どんなに待遇や処遇を良くしたとしても、中小企業に将来有望な若手社員を雇用してゆくのは困難な状況です。その理由は、大手企業と比べ、若い世代に企業の価値を広く伝えることができていないことも要因の一つと思われます。

では、どうやって労働力不足を補い若手社員を雇用してゆくのか？ この対策の一つがデジタル化です。デジタル化によって、これまで人手で実施していた業務をコンピュータに任せ、人でしかできない業務にシフトさせることで労働力不足を補うことや、ネットやデジ

タルの力で若手人材にも中小企業の価値や魅力を伝え、働きたい人を確保することなどで解決することが可能と考えます。

また、中小企業基盤整備機構の「中小企業のDX推進に関する調査(2022年)」では、4割近くの企業が何らかの形でDX(デジタルトランスフォーメーション)について理解しており、そのうち8割近くがDXへの取り組みの必要性があると認識していますが、既にDXに取り組んでいる企業の割合は7.9%と、取り組みが進んでいないのが実態です。

このようなデジタル化(DX化)への取り組み実態や将来の労働力不足の対策として、今こそ中小企業にデジタル化の取り組みを推進することが必要だと考えます。



NTTアドバンステクノロジ株式会社
ValueCo-creation事業本部

河端 亮一 氏

02▶ デジタル化は単なる手段ではない、その目的と効果は何か

企業活動において、デジタル化は今後推進すべき対策ですが、デジタル化は単なる手段ではありません。デジタル化によって、企業には大きな社会的価値を生み出します。

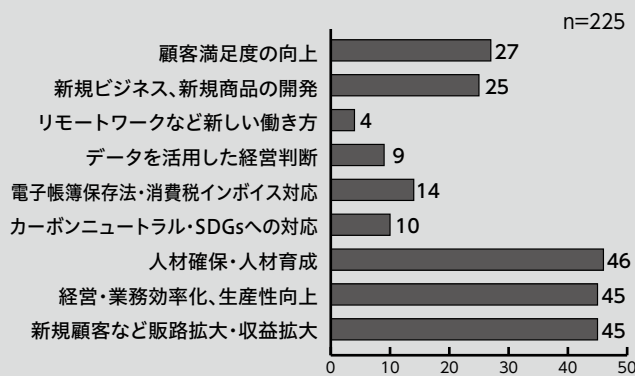
① 企業の価値を高める

企業の価値とは、収益の拡大や業務効率化、生産性向上など企業活動を行う上で社会全体への利益をもたらすことを示します。2022年度に高知県中央会が行ったアンケート結果によると、企業としての重要な課題は、「人材確保・育成」「業務効率化・生産性向上」「収益拡大」の3つであり、これらの課題を解決する手段としてデジタル化が重要です。

② 社員を守る

企業にとって最大の財産は、社員です。社員が健康で幸せな社会生活を送るために企業は努力をすることが求められます。昨今、働き方改革や運送業界の時間外上限規制などがめざす一つの目的には、社員の幸福によって企業の社会的価値を高めること、そして若手の社員雇用のきっかけにもつながります。また、社員にとっても働きがいの向上などにより、モチベーションアップや生産性向上にもつながります。これにもデジタル化は重要な手段となります。

会社運営上、重要な課題(複数回答)



03▶ デジタル化の具体的な課題と解決

中小企業や組合にとって、デジタル化すべき課題や解決方法は何か、2022年に高知県・宮城県中央会が実施したアンケート結果に基づき、具体的なヒアリングを35団体(高知県20団体、宮城県15団体)に実施した結果から主な課題と解決方法を高知県の事例を中心に紹介します。

① 受発注業務の効率化

課題

- ・ 組合員企業の取り扱い食品を少人数で外販しているが、人を増やさずに売上を拡大したい。
- ・ 受発注時に人手をかけて伝票作成から発注、請求をしている業務の負担を解消し、外販業務に注力したい。

解決方法

- ・ 紙の伝票などからシステムへの入力などの業務をコンピュータで自動化するRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用し、人手の業務負担を解消する。
- ・ 業務フローのヒアリングに基づき、業務実態に合わせたRPAのシナリオ作成と実行確認を実施する。

② 公文書作成・申請・日々の監理業務の効率化

課題

- ・ 外国人技能実習生の受入に伴い、法律で定められた大量の書類の作成やシステムへの入力、実習生の監理業務の負担を解消したい。
- ・ 外国人受入企業はデジタルツールを使えない高齢者などが多く、情報のやりとりやコミュニケーションを電話やFAXなどの手段で実施しているが、受入企業や実習生との情報伝達などの運用業務負担を解消したい。

解決方法

- ・ 現在日常の管理ツールとして活用しているエクセルをベースに、エクセルからシステムへの入力業務をコンピュータで自動化するRPAを活用し、人手の業務負担を解消する。
- ・ コミュニケーションツールとして、電話・FAX・メール以外に受入企業や実習生が日頃利用しているスマホのLINE等を活用し、情報のやり取りを効率化する。

③ 顧客受付業務の効率化

課題

- ・ コロナ禍での旅行支援事業の申請の確認など受付者の業務負担や顧客を待たせるなどの負担を解消したい。
- ・ 宿泊予約者からの受付時の宿泊台帳への記入など高齢者の方の負担軽減とスムーズなチェックインや宿泊管理システム(PMSなど)への職員の入力業務負担を解消したい。

解決方法

- ・ 高齢者などの記入や入力が困難な場合に、音声認識によるテキスト化とRPA等による自動入力を行い、お客様負担と職員の受付業務負担を解消する。
- ・ 宿泊予約サイトで予約された予約者のデータを取得し、Kintoneに自動取り込みを行い、チェックイン・チェックアウトのURLフォームから宿泊者自身でチェックイン・チェックアウトを行うことで宿泊者のチェックイン等や部屋の割り当てなどの業務負担を解消する。

④ 商品PR・拡販

課題

- ・ コロナ禍で飲食店からの鮮魚の発注が減少し、自社ホームページでのネット販売や自動販売機などで直接顧客向けの鮮魚の販売を行っているが、売上が上がらない。大手ネット販売などはコストが高く、コストを抑えた効果的なPRなどで売上を拡大したい。

解決方法

- ・ 直接顧客に取扱商品の良さをPRする手段として、人気があるインフルエンサーなどを活用し、映像などによる商品PRにより、視聴数を増やして商品の認知度の向上を図る。

上記は一部の事例ですが、その他身近なデジタル化の課題解決方法として、会議録のテキスト化をスマホの機能を活用することで会議録の作成負担を解消することや、電帳法・インボイス制度に対応した会計ツールを活用し、スマホからのレシートのアップロードと自動仕分けするなど、大掛かりなデジタル化ではなくとも、日頃使っているツールの活用や課題によって適切なツールに変更するなどの方法も有効です。

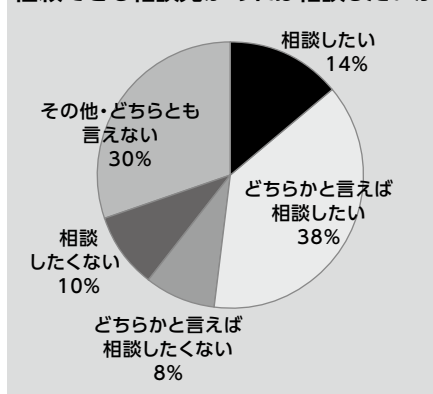
04 デジタル化を進めるための課題とその対応

デジタル化を検討する上で、中小企業にとって課題となるポイントとその対応について紹介します。

① デジタル化を検討する人材不足

- ・ デジタル化を検討するには、業務スキルとデジタル化スキルの両スキルを有する人材が必要となります。業務スキルは中小企業の事業所の人員でカバーできますが、デジタルスキルを有する人材が不足しており、対応する際の時間と稼働費用を負担する必要があります。
- ・ これらの人材不足を解決する方法として、信頼できる相談先を見つけ、具体的な提案を実施してもらうことが重要です。高知県・宮城県中央会のアンケート結果では、52%が「相談したい・どちらかと言えば相談したい」と回答されており、信頼できる相談先を探していると考えられます。相談先の一つに取引があるITベンダーがありますが、ITベンダーは自社以外の商品も含めて最適な方法を提案することが困難なケースがあります。また、ITコンサルティング事業者は、十分な業務理解を得られなければ一般的な提案になり費用が高額となる可能性があります。
- ・ 中央会などの支援機関に相談し、業務理解をしつつ具体的な課題解決方法を発掘し、最適なツールの提案や導入支援が可能な事業者を選定してもらうことが重要です。経産省の「みらデジ」相談も有効ですが、具体的なツールの選定や導入支援といった中小企業への伴走支援まで十分ではないことに留意が必要です。

信頼できる相談先があれば相談したいか



②経営層による具体的な目標設定と社員の理解による推進

- ・デジタル化は経営目標達成のためにあります。経営層がデジタル化によって具体的な課題解決とその目標を示すこと、その目標を社員が理解して推進することが重要です。
- ・目先の目標にとどまらず、中期(3年程度)の会社の目標を達成する手段として優先的な課題を計画的に実行する取り組みが必要です。
- ・具体的な目標を社員が理解することで、会社や業務へのモチベーションアップにより、働きがいがある企業・社会的に価値が高い企業となり、若手の優秀な人材の雇用にもつながります。

③デジタル化による費用対効果を試算

- ・デジタル化の推進にあたっては、課題の大きさや解決手段により費用が異なり、解決した場合の効果を定量的に図り、少なくとも中期(3年程度)の費用対効果を試算することが重要です。例えば、ある業務をデジタル化する場合、これまでその業務に従事した直接的人件費(時間外労働費等)の削減、ミスの軽減や時間の短縮による顧客満足度の向上、人員をシフトすることによる収益の拡大など、直接的な効果と間接的に受ける効果を合わせて、費用とのバランスを考慮した取り組みを進めることになります。
- ・経営課題の優先度の高いものから実施することも重要ですが、大規模かつ時間を要する対応が求められることは優先度を下げて、身近な業務課題から無償を含む低コストのツールでデジタル化を推進することも、デジタル化を推進する上では重要になります。

④導入費用に対する補助金などの活用

- ・デジタル化の推進には費用が発生する場合があります。費用を低減化させる手段の一つが補助金などの活用です。
国や自治体、外郭団体、民間などから年間1万件以上の補助金や助成金が公募されています。しかし、中小企業が自ら補助金や助成金を探してデジタル化に適用できるかを調査し、その申請を行うことは困難であり、適用可能な補助金や助成金を見逃しているケースが多々あります。
- ・デジタル化に補助金や助成金が適用可能かどうかを判断できる事業者をはじめ、中央会などの支援機関に相談しながら進めることが、費用を低減しつつデジタル化を進める方法として有効です。

05▶ 終わりに

中小企業がデジタル化を推進するためのポイントを最後に整理します。

1. 経営層が具体的なデジタル化の目標を掲げ、社員との共通認識の元、重要な課題から取り組むこと。
そのための第一歩として、身近な課題から解決できるデジタルツールを利用してトライアルすること。
新規に最初から全ての業務をデジタル化するより、既存のシステムやツールを効率的に連携、活用できる仕組みから始めること。
2. 業務課題に対するデジタル化の具体的な実現手段の選定から、導入支援、補助金などの適用の支援まで伴走できる、信頼できる相談先を見つけ、積極的に相談すること。
3. 取引先などの利用者が高齢者といった場合にはデジタル化による運用が困難な人に対応できる手段を考慮すること。

昨今、ChatGPTといったAIが話題になっています。ChatGPTなどのAIを活用することで、補助金申請の作成やチェックといった人が実施してきた作業をAIが実施してくれることが想定されます。中小企業にも必要となるケースも増えていきます。ご支援・ご協力いたしますので、是非、一度トライしてみたいかがでしょうか。

※本文中に記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタル化のお困りごと、ご相談ください!

本会では、NTTアドバンステクノロジー株式会社と連携して、会員組合及び組合員企業へのデジタル化・DX推進支援を実施しております。

現状のヒアリングを通じてデジタル化推進の方向性や業務の効率化を図る最適なツール等のご提案をさせていただきます。

デジタル化を検討中、また新たにデジタルツールの導入をご検討の組合・組合員企業につきましては、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

高知県中小企業団体中央会 DX推進室(担当:  久保) TEL:088-845-8870 E-mail:kubo@kbiz.or.jp



▶親睦ゴルフコンペを開催



去る10月4日(水)にレクリエーション事業の一環として、今年度も恒例の「親睦ゴルフコンペ」を香美市「土佐山田ゴルフ倶楽部」にて開催しました。



当日は総勢14名(4組)が参加。天候にも恵まれ、参加者らは談笑を交えた和気あいの雰囲気のもとで日頃の練習成果を競い合いました。

なお、上位成績者は、優勝：長崎真行氏(高知県中古自動車販売商工組合青年部)、準優勝：田内敬太氏(高知県トラック協会青年部)、第3位：谷山正氏(事業協同組合高知総合輸送センター青年部)でした。

またコンペ終了後には表彰式を兼ねた懇親会を開催し、参加者一同、和やかな雰囲気のもと親睦・交流を深めていました。

▶高知高等技術学校との交流事業 “とさとーく”を開催

高知県中小企業青年中央会では去る10月7日(土)、青年中央会の会員企業と高知高等技術学校の学生との交流事業“とさとーく”を高知高等技術学校にて開催しました。

本事業は、企業の皆様にとっては学生を理解する場として、また学生にとっては働くことを考えるきっかけとして、相互理解を深める場の提供を行うことで、雇用のミスマッチ低減や県内中小企業に目を向けるきっかけとすることを目的に開催しており、当日は製造業や管工事業などの企業7社が参加しました。

今年度は、高知高等技術学校が小学生に対するものづくりの仕事体験イベントとして開催する「ワクワクWORKキッズフェス」と同時開催し、学生が実施する体験イベントの支援や将来の担い手となる小学生及び保護者への企業PR等を目的として開催いたしました。

例年の交流事業とは異なり、イベントを通じた学生等との交流を行うことで、普段の交流会では見られない学生の一面が見られたり、ざっくばらんな会話ができるなど、有意義な交流となりました。



安心のゴールキーパーでありたい。

MS&AD 三井住友海上



クルマの保険



すまいの保険



ケガの保険



組合いんふおめーしょん

い・ろ・は・に・ほ・へ・と

KUMIAI information

掲載
無料

組合いんふおめーしょんのコーナーを、組合活動のPR、イベント、新商品のご紹介などの告知にぜひご利用ください。
◎中央会までししし情報をお寄せください!!

11月は、魅力的で 多種多様なイベントが目白押しです!

はりまや橋商店街振興組合(小谷一雄理事長)では、11月いっぱい、下記の通り、魅力的で多種多様なイベントを開催します。

馴染み客の多い恒例の行事に加え新規イベントもあり、それぞれ内容も盛りだくさん。なお12日の「kimono ファッションショー」は、「高知おまち学園」主催によるもので、企画から当日の運営まで県内の高校生が中心となり初めて実施するものです。いずれも世代を超えて楽しめるイベントですので、ぜひ皆さまお誘いあわせのうえ、足をお運びください。

11月5日(日) 11時~15時

第7回はりまやマルシェ

人気のスイーツやアクセサリ、雑貨等が
はりまや橋商店街のアーケードにズラリと並びます。



11月15日(水) 16時~21時30分

はりまや宴舞会

飲食ブースあり!音楽あり!よさこいあり!の宴舞会。
龍馬生誕の日に、お食事とお酒を楽しみながら
ゆっくりと秋の夜長をお過ごしください。

11月11日(土) 17時~21時 はりまや昭和ディスコ

アーケード内に舞台とDJブースを設け、懐かしい昭和のディスコサウンドで、
演者とともにお客様に踊っていただくイベントです。

11月12日(日) 11時、15時

kimono ファッションショー《高知おまち学園》

SDGsな服飾である日本古来の着物に、
新しいテイストを加えたデザインと着こなしの数々!
10代の若者ならではの感性で創り上げる
「温故知新」なファッションにご注目ください!



11月25日(土)~26日(日) 10時~15時
あきんど祭り

はりまや橋版「蚤の市」。
ダンスパフォーマンスも同時開催予定です。

「kimono ファッションショー」についての
お問い合わせは 088-845-8870
(高知県商店街振興組合連合会)まで

い

KUMIAI
information

1

はりまや橋商店街振興組合

11月 児童養護施設、子ども食堂への 寄贈を行いました!

高知県遊技業協同組合(秋 太海理事長)は、令和5年9月
13日に児童養護施設「博愛園」(香美市土佐山田町)を訪れ、
児童用図書600冊を寄贈しました。また翌14日には「大篠子
ども食堂」(南国市)を訪れ、調味料、サラダ油等100点を寄贈
しました。

当組合では、子どもたちの健やかな成長に役立てればとの願いから、長年
にわたり県内の各児童施設等への寄贈を続けており、今後も子どもたちが
集う様々な施設への寄贈を継続させていく予定です。



◀大篠
子ども食堂

▼博愛園



ろ

KUMIAI
information

2

高知県遊技業協同組合



お客さまの
笑顔の花を
咲かせるしごとです。

お金のこと、経営のことのほかにも、デジタル化の
推進や事業承継など、さまざまな経営課題に対して
その道のプロフェッショナルが解決策を提案します。
信用保証協会では、経営の「今」を全力でサポート
します。

高知県信用保証協会

〒780-0901 高知市上町3丁目13番14号
TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069
URL <http://www.kochi-cgc.or.jp/>

.com
BANK

あなたと未来を創る

金融機関から「金融サービス企業」へ・・・
真にお客様から信頼され、
お客様に有益な商品・サービスが
提供できるよう全役職員が
「意をひとつ」にして
取り組んでいます。



富和信用金庫

〒780-0901 高知市上町3丁目14番1号
TEL 088-832-3261 FAX 088-822-7069

ドットコムバンク

検索



移住したきっかけ

昔からやりたかった狩猟を仕事にするために唯一、ジビエの地域おこし協力隊を募集していた大豊町への移住を決意しました。もともとは、山口県で食品関係の仕事をしてながら必要な資格を取得してジビエの活動をしようと考えていましたが、このような良い条件の募集はなかなかないと思い、地域おこし協力隊の可否が出る前に仕事を辞めて移住の準備をしていました。

協力隊の活動内容

私が担当しているミッションは野生鳥獣(ジビエ)の捕獲から加工販売および営業企画の立案と運営などの研修を受けながら、大豊町のジビエ産業の担い手を目指していくミッションです。有害鳥獣駆除として地域貢献にもつながる重要なミッションです。

はじめは山の見回り、罠作りからスタートして、自身の罠を山にしかけていきます。獲物の捕獲・解体から精肉・調理と一貫してすべての工程をやっていくので大変なことですが非常に楽しく毎日仕事をしています。

狩猟は初めてでしたが、一か月ほどで獲物が捕れました。あの時の感動が今でも忘れられないです。それから徐々にスキルが上達し、コンスタントに捕獲・解体とスムーズに行えるようになっていきます。精肉・調理などの技術も徐々に精度を上げていきます。ジビエの活動は結果的に有害鳥獣駆除の一部となっていますので、地域の方々への鳥獣被害を防止し地域貢献できることにもつながっています。山間部はかなり高齢化が進んでいるため、AIやICTの技術を取り入れ効率的な有害鳥獣駆除も出来るように色々な方の協力を得ながら進めていければと考えます。



写真提供：高知大学土佐FBC

岡本裕太

(おかもと ゆうた)

- 群馬県出身の村育ち、その後、九州へ移住し就職。やりたいことをするために退職し、自転車で日本一周をして、日本の世界遺産制覇と4極点の制覇。その後は、山口県下関市にて就職しながら狩猟の道に進む途中でジビエの地域おこし協力隊の募集を見つけ、大豊町の地域おこし協力隊へ!



▲山荘梶ヶ森への出品アクセサリ



▲鹿の角を使ったイヤリング

これからの目標

自ら捕獲した鹿の角を使ったアクセサリー(ピアス、イヤリング、リング)、犬のおもちゃ、キャンプの道具などを、主に大豊町の山荘梶ヶ森や日曜市に出品しています。今年からペットフードを作り販売していく予定です。夢であったジビエと狩猟の生活が出来るように色々なことに挑戦していきます。

クロスフィットおとよ

外国人の方が運営するジムで、田舎ですがかなり本格的なトレーニングをプロから学ぶことができます。お年寄りから若い方まで幅広い年齢の方が利用されています。

- ◆所在地 長岡郡大豊町東土居 317-1
- ◆TEL 0887-79-0260
- ◆HP <https://www.otoyostrength.com/ja>



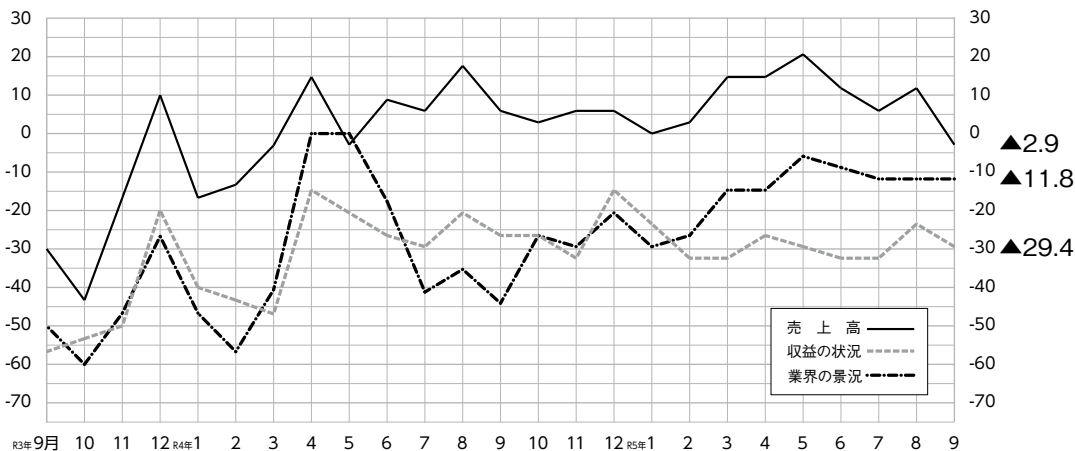
大豊町で見つけたこじやんとえいところ!





情報連絡員報告

DI(景気動向指数)



業界の状況

- ☀️ …好転
- ☁️ …やや好転
- ☁️ …不変
- ☁️ …やや悪化
- ☔️ …悪化

	テントシート	昨年度より帆布製品の大幅な値上げが、やっと販売価格に転嫁出来そうな感がある中で、小幅ではあるが、帆布製品・副資材等の相次ぐ高騰で非常に厳しい状況が長引きそうである。コロナ感染が下火に向かう中、イベントの開催がコロナ前に回復基調にやっとなったように感じる。新型コロナウイルスの影響について、イベント関連事業は回復基調にあるが、販売事業は厳しい状況が続くと思われる。また、価格転嫁についても大変厳しい状況が続くと思われる。
	青果卸売	野菜・果実共にキロ当たり単価が前年より高く、諸物価高騰の影響で粗利益率は前年比で若干低下と思われる。
	生鮮魚介卸売	全体の売上は上昇してきているが、商品の値上がりによるもので利益にはなかなか繋がらない。運賃等の値上げによるもので、価格転嫁が追いついていない。美味しいカツオは入荷している。
	電気機械器具小売	全商品平均で、前年比116%。省エネ商品が好調。エアコン前年比106%、ドラム式洗濯機110%、テレビは96%。リフォームは前年比103%だった。
	商店街（四万十市）	県外客が流れて来てくれている。飲食店については雇用人数を増やして対応している。プレミアム商品券に関しては使用数が増えるのはまだこれから。「よさこい四万十」は盛況だった。
	旅館・ホテル	旅行需要の高まりにより、国内客だけでなくインバウンド宿泊者も増加しているが、依然として人員不足は深刻で、受入制限を設けるなど稼働を抑えざるを得ない施設も多い。宴会、忘・新年会の受注も徐々に増え、見通しは良くなってきている。

	食品団地	9月市況は観光・外食関係が昨年よりは好調。県外業況については、小売店向け食材がやや上向きか。収益面ではエネルギーコスト・原材料・資材等の上昇をいかに吸収するか苦戦している状況。
	酒類製造	昨年度は大幅に増加した影響で前年対比は減少。回復にはまだ浮き沈みの月が目立つ。電気料金・運送費の高騰の影響がある。また、新型コロナウイルスの影響として、土佐の酒文化・皿鉢料理・返杯・献杯等の自粛がある。
	木製品素材生産	入荷量は、天候の悪い日が続く、先月に引き続き少ない状況であるが、今後秋の需要に向け回復してくる見込み。丸太価格については、樹種により多少の違いはあるが、全体的に横ばい状況となっており、今後についても製品の動きが悪くあまり期待できない状況。電気料の高騰により、厳しくなっている。
	製紙（家庭紙）	販売金額は、前月に続きティッシュペーパー及びトイレットペーパーは、前年同月比及び前年累計比で増加している。販売量も同様に前月に続き、ティッシュペーパーだけは前年同月比で増加しているが、他の紙製品は販売金額及び販売量は昨年を割っており、全体として厳しい状況に変わりはない。価格転嫁は一段落ついた状況である。しかし、全てを価格転嫁できているわけではないので、厳しい状況にあることに変わりない。
	製紙（手すき和紙）	円安・原材料等高騰のあおりを受け続けている。収益が伸びない状態が続いており、鈍い状況のままで、先行きが不安で仕方ない。原材料等高騰が止まらず、価格転換はするものの、収益には反映されていない状態が続いている。
	コンクリート製品	前年度同月比93.2%。例年通りの状況。セメント・鋼材等の高騰の影響がある。
	刃物製造	量販店向きの商材の出が悪く、また、海外向きの商材の動きが悪く、前年を下回ってしまった。少し、海外向きの商材の動きが鈍くなった気もする。また、キャンプ用品（アウトドア関係）の動きも悪くなってきたようである。材料・光熱費の値上がりで生産者にとって厳しい状況は続いている。
	船舶製造	部品や素材の値上げ要請は続いている。エネルギー・原材料等は、今後も値上がりが続けば影響が出てくる。
	珊瑚装飾品製造	9月度の取引額は前年同月比132%となった。新型コロナウイルスの影響として、基本的な感染対策の継続などがある。

	卸団地	全体的な物価高の影響は大きく、経費の増加が、売上アップしていても収益状況はあまり良くない。景気悪化が進んでいる。インボイス制度導入や電子帳簿保存法などに対応するためにコストアップや人手がかかるものの、現状の経営では限界が近づいている。新型コロナウイルスの影響で、売上減が続いている。原材料が値上がりしているものの、十分価格転嫁できていない。
	各種小売（土佐市）	あまり動きは見受けられない。もう少し回復すると期待していたが、この状況が続き不安の声が多い。来月からはインボイス制度も始まるが、内容が複雑で理解できていない人も多く、対応に困惑している。
	中古自動車小売	9月末に「中古車フェア」をちばさんセンターにて開催。前回と比べ、来場者数の落ち込みに比例して販売台数も減少。しかし、フェア終了後も問合せ等注文件数も多く、特に高年式の軽自動車の販売台数が好調。
	商店街（高知市）	中央公園地下駐車場 売上前年比:91.9% 利用台数前年比:91.1%。夏の反動からか、来街者がめっきり少なかったように思われる。しかし、月末の「高知大道芸フェス」には県内外から多くの人出があり、商店街イベントとしての定着性を感じる。
	飲食店	前年同月比から売上は1割増えているが、光熱費や仕入れ価格が高騰しているため収益は悪化。コロナ禍以前との売上比較は8~9割。売上高の回復は頭打ち感がある。新型コロナウイルスの影響で売上が低下している。電気・ガス等のエネルギー、大手メーカーの原材料等の大幅な値上げに対し、顧客離れや売り上げの低下等の懸念から業界の価格転嫁力は低い。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比300%、全旅クーポンを加味して280%。インバウンドに特化した新規組合員1社入会あり。
	IT事業	組合の新年度も始まり、退会された組合員もいたが、新規加入もあった。業界全体的に人材不足が続いている中、新たな戦力として仲間が増えることは組合としてもメリットであり、今後の活躍に期待したい。前年に比べ、売上はやや落ちているものの全体的に案件は多いと感じられる。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事は、前年同月比82.1%となった。高知中央地区・香長地区が大幅に減少した。
	タクシー	実働1日1車当りの前年同月比運送収入:123.8%、輸送回数:117.4%、実働率は50.5%。実働率を見ていただくと分かるように、運転者が不足しているので半分か車が稼働していない。運転者1人当たりの収入も増えているが、会社としては需要に対応できず、ご利用者に迷惑をかけている。運転者不足は深刻で、ライドシェア(白タク)の出現もあり得ると緊張の日々である。運転者募集も各社頑張っている。

	製材	製材品の需要は当面低下傾向が見込まれる。
	建具	9月は前年度と比べて20%くらいダウンとかなり悪かった。全体的に仕事量が少ない。材料が値上がりした分、100%価格転嫁できていない。
	印刷	先月に引き続き売上増加、設備操業度上昇となった。県外需要で明るさも見られ、県内需要も選挙関連特需あり。半面、原材料の高騰が販売価格に十分に反映できなく厳しい経営状況は継続している。
	生コンクリート製造	9月度の全組合員の出荷量は、単月で対前年比93.4%、4月からの累計は91.5%で、前月より単月の出荷量が持ち直し傾向であった。地域的には嶺北・高知市内の一部及び中部協組が140%以上で増加しているが、その他の地区は対前年比70%前後程度で、減少傾向が続いている。
	機械団地	海外の大きな市場である中国経済の減速により、製品の受注が減少しているとする事業所がある。団地内の業況にはバラツキはあるが、9月は概ね横ばいから下降傾向の推移となっている。エネルギー・原材料等の高騰について、ガソリン代の高騰による経費の増加の影響がある。
	ガソリンスタンド	政府の補助金は9月末での終了が12月末までに延長されとの発表があったが、補助金の計算式の変更があり、市況も下がった。10月にも補助金の増額があるようで、価格は下がりそうである。ただ、原産国は減産を続けており原油は上昇している。また、円安も続いているがそれ以上に補助金が出ているので下落している。もしこれ以上補助金が増えて、12月に終了となると市況はどうなるのか不安。9月末現在、1リットルあたり32.1円の補助となっている。新型コロナウイルスの影響で、販売数量が元に戻らない。EVに移行するが先か合成燃料が先か注視が必要。
	商店街（安芸市）	安芸社会福祉協議会から提案があり、敬老の日に合わせて、安芸地区にお住まいの高齢者を対象に安芸本町商店街限定商品券を発行。約1,300名×1,000円分を配布した。価格転嫁を行ったところや検討中の店舗もあるが、値上げによる購買数の減少など影響があり得る。
	クリーニング	残暑が続いた影響が需要は減少。人件費上昇により、営業時間短縮が進んでいる。人手不足が常態化してきている。従業員などで、新型コロナウイルスの発症者が続いている。また、エネルギー・原材料の上昇は続いており、価格改定を行う店もある。
	一般土木建築工事	令和5年9月分の公共用土木生コン出荷量は、前月比136.6%、前年同月比93.4%。9月の工事請負金額は前年当月比で94.5%。令和5年9月末時点の前年対比請負金額は、国:98.6%、高知県:94.5%、市町村:86.5%となっており、工事請負金額・生コン出荷量共に減少している。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事については継続している。生コンクリート販売単価については、今後も生産原価上昇が予想され、値上げ交渉が必要となることが予想され、共販率向上に向けた取組を当組合としても行っていく。セメント・原材料・骨材・燃料費・人件費等高騰により県下では、生コン販売価格引上げを昨年から2度にわたって実施し、㎡当たり4,000円から5,000円上昇。高知市を除く地域においては㎡当たり積算単価も4,000円引上げとなり、高知市だけが取り残された形となっていたが、10月に入り経済調査会による積算単価が2,000円/㎡引上げとなり、累計で昨年対比5,000円/㎡積算単価も上昇した。但し全国平均単価が20,000円となろうとしている中では高知市は異常な安価での市場価格推移であると判断されていることも事実である。
	一般貨物自動車運送	組合実績は事業によって前年同月比にばらつきがみられるが、全般的に若干のマイナスとなった。燃料価格が政府補助金の拡充により5円程度値下げとなったが、荷動きの回復が鈍くまだまだ厳しい状態といえる。新型コロナウイルスの影響で、荷物量が回復しきっていない。燃料高騰による運賃転嫁がなかなか進まない。

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。

BESTパートナー
大樹生命



従業員のための 退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、
安定した退職金準備が
できる共済制度です。

特定退職金共済制度 引受保険会社
大樹生命保険株式会社



経営者・従業員のための 万一の保障

団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、
一般扱 (口座振替月払等) で
ご契約いただくよりも、
保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の
各種リスクマネジメントのために

パートナーズプラン

役員・従業員の皆さまの
保障準備をサポート



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる
従業員さまのケガなどのリスクに
対してお役に立つ保険です。

業務災害補償保険 引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社
業務災害補償保険 取扱代理店
大樹生命保険株式会社



- * 団体扱とは、高知県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。
- ※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。
- ※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書 (契約概要)」 「特に重要な事項のご説明 (注意喚起情報)」 「ご契約のしおりー約款」 および高知県中小企業団体中央会の「退職金共済規程 (規約・規則)」等を必ずご覧ください。

大樹生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 高知営業部

〒780-0053 高知県高知市駅前町 1-8 第7駅前観光ビル 2F TEL: 088-882-3402
<https://www.taiju-life.co.jp/>

大樹-KB-2019-1064 (損保) A-2021-101 (2021.4)
R-2021-1001 (2021.4)

制作
発行



つな
人を継ぎ、組織を育む
高知県中小企業団体中央会

※組合等活性化情報誌「へんしも情報」は、環境に配慮した植物性インキを使用しております。

〒781-5101 高知市布師田3992-2 中小企業会館 4階
TEL 088-845-8870 FAX 088-845-2434
URL <https://www.kbiz.or.jp> E-mail info@kbiz.or.jp

